

下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI等の変更について(平成29年度)

第1回総合計画審議会でご提言いただいた内容に基づき対応を検討した結果、総合戦略の変更が必要な項目について、下記のとおり訂正してよろしいか。

◆基本目標における数値目標

○数値目標の新設

項目	項目の説明	基準値	目標値(H31年)
② 東京圏からの転入者数	東京圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)からの転入者数	468人	510人

◆重要業績評価指標(KPI)

○KPIをより適当な項目への位置の変更

項目	現在	訂正(案)
11 本場結城紬展示会開催回数	基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」 (ア)商工業による躍進するまちづくり ③雇用・就業機会の拡充 の中に位置付けられている。	基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」 (イ)魅力あふれる『観光まちづくり』の中へと位置付けを変更する。

○KPIにおける目標値の上方修正

項目	項目の説明	基準値	目標値(KPI)
37 観光自転車利用者数	市内5か所に設置したレンタサイクルステーションでの観光自転車年間利用者数	632人	700人 2,000人

これに併せ、第1回総合計画審議会でご報告した「評価分析シート(平成29年度)」の年度目標値を下記の通り訂正する。

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
37	観光自転車利用者数	632人	646人 900人	659人 1,000人	673人 1,100人 1,600人	684人 1,200人 1,900人	700人 1,300人 2,000人
	(市内5か所に設置したレンタサイクルステーションでの観光自転車年間利用者数)		905人	1,469人			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		A	A			
担当課	商工観光課	オアシスポップ館、自治医大駅・石橋駅、道の駅しもつけ、夜明け前において観光自転車貸出しを行った。広域観光推進協議会と連携し、二次交通のPRを図ったことから、二次交通としての個人利用が増えた。今後も引き続き、観光自転車のPRを実施する。 なお、利用者数の増に伴い、平成31年度の目標値を700人から 1,300人 2,000人へ上方修正する。					

項目	項目の説明	基準値	目標値(KPI)
72	認知症サポーター数 認知症サポーター養成講座の延べ参加者数	2,085人	5,500人 7,600人

これに併せ、第1回総合計画審議会で報告した「評価分析シート(平成29年度)」の年度目標値を下記の通り訂正する。

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
72	認知症サポーター数	2,085人	660人 (延2,745人)	670人 (延3,415人)	680人 (延4,095人) 1,020人 (延6,000人)	680人 (延4,775人) 800人 (延6,800人)	725人 (延5,500人) 800人 (延7,600人)
	(認知症サポーター養成講座の延べ参加者数)		1,513人 (延3,628人)	1,352人 (延4,980人)			
		達成度	A	A			
平成28年度 of 取組と実績値の分析及び今後の取組		市民をはじめ、小中学校、大学、自治会、民間企業等を対象に34回の認知症サポーター養成講座を開催した。その結果、1,352名の認知症サポーターが新たに誕生し、認知症サポーター数は延べ4,980名となった。第6期高齢者保健福祉計画で設定した目標である「サポーター数4,000人」も達成し、「認知症サポーター4,000人達成イベント」を開催した。また、認知症サポーター受講者を対象に、フォローアップ講座を2回開催した。					
担当課	高齢福祉課						

※なお、本KPIについては、平成29年3月改訂において、目標値を4,000人から5,500人へと上方修正を一度行っている。